市政フラッシュ

2/2

おいしい学校給食の発展のために

学校給食の実情を把握し、今後の学校給食・食育の充実発展に役立てることを目的に、毎年全国学校給食週間が設けられており、宜野湾市は1月21日から1月25日の期間に学校給食状況視察を実施しました。今年は長田小学校、普天間小学校、嘉数中学校の3校を市長や、市議会議長、教育長などが視察。視察後に行われた懇談会では、給食をより良いものにしていこうと活発な意見交換が行われました。

2/2

安倍総理が普天間飛行場を視察

宜野湾市を訪れた安倍晋三首相は嘉数高台公園より普天間飛行場を視察。佐喜眞市長は「基地負担軽減と危険性除去という原点に戻って速やかに普天間飛行場を返還してほしい。これ以上の基地負担と普天間飛行場の固定化は絶対にあってはならない」と訴え、早期閉鎖・返還、オスプレイの配備撤回、基地被害の対策を行うよう求めました。安倍首相は「普天間飛行場の固定化は避けなければならない」と述べました。

2/15

人と人がつながる やさしい都市（まち） ぎのわんを目指して

中央公民館において宜野湾市社会福祉大会が開催されました。大会では、市内の社会福祉の発展に貢献のあった方々への表彰が行われ、特別功労者として30名、優良地域団体として3団体が表彰されました。また、記念講演では、フリーライターの山城紀子氏が「その人らしく生きられるために地域でできること」と題し、地域においてすべての住民が尊重し合い、支え合いながら暮らしていくことの大切さを講演しました。

2/16

普天間飛行場の固定化阻止を！

市役所を訪れた岸田文雄外相は、屋上より普天間飛行場を視察した後、佐喜眞市長と会談を行いました。会談の中で岸田外相は「普天間飛行場が市街地と隣接している実態を実感。普天間の固定化はあってはならない」と述べました。佐喜眞市長はオスプレイの追加配備撤回を要請し、「普天間飛行場の返還は市民の願い。解決に向け政府一丸で取り組んで欲しい」と求めました。

2/20

明るいまちづくりを目指して！

2009年のパトロール隊結成以来、通称「新町」の環境浄化運動に取り組んできた市女性団体連絡協議会が、沖縄県ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議より平成24年度「ちゅらさん運動」功労者として表彰されました。

与那城米子女団協会長より、「今後も市と連携を図り、新町の違法風俗店根絶に向け取り組みたい。市としても真栄原地区の明るいまちづくりに積極的に取り組んでほしい」との要望がありました。